

松樹会ニュース

編集・発行 医療法人 松尾クリニック ・ 松樹会 Vol. 36

「四半世紀の想い」

松尾クリニック

院長 松尾美由起

夏と冬が同時に来たような春でしたが皆様のお身体の調子はいかがでしたでしょうか？

松尾クリニックは今年10月でなんと25周年を迎えます。四半世紀での医療の進歩はすばらしいものがあり、開院当初は在宅



医療も少なかったのですが介護保険とともに大きく広がりを見せてきました。また携帯電話やインターネットも普及し、いろんな情報が洪水の如く押し寄せる時代となりました。

日々の診療に追われながらも、在宅で診せていただいた600

人以上の方々の一一人の事をいろんな技術や機械のなかったころの工夫や不便さも交えて：

思い出すことが多々あります。

介護保険がスタートしてから、

在宅医療の内容もずいぶん充実してきたと感じています。

そして最近では病診連携（病

院と診療所が連絡を密にし患者さんのために連携すること）制度もスムーズに行きかけているようにみえます。

しかし、大阪市内の大病院で手術や治療を行い、もう治療のしようがないからと言われる在宅医療を勧められてこられる方も多いのですが、例えば大量出血し急変した時の病院を手配することの困難さは在宅をしている



る開業医にしかわからない悩みです。私は内科ですが、特に婦人科や耳鼻科の癌の末期の方の場合、ほとんどゼロといっているほど救急で受け付けてくれる病院はありません。手術した病院は「こちらでの治療は終わっており、救急外来もないので引き受けられない」と言い、他の病院では「手術したところが診るのがスジだろう」と冷たく拒

否されるのです。輸血もすぐに手に入らないクリニックや在宅で、出血する患者さんを見ながら「スジでも肉でも何でも良いからまずは困っている患者さんの救急処置をしてから改めて病院に問い合わせしてほしい」と切に願います。

四半世紀経っても改善されない面をなんとかできないものでしょうか？



昨年 10 月 1 日、松尾クリニックの理事長に松尾汎先生が就任されました。大変遅くなりましたが汎先生にご挨拶をいただきました。

理事長ご挨拶

小生は、昨年 10 月より医療法人松尾クリニックの理事長に就任いたしました松尾汎（ひろし）でございます。本誌をお借りして、自己紹介を兼ね、就任のご挨拶をさせていただきます。



松尾クリニックは開院以来、今年で満 25 周年を迎えることができました。松尾クリニックは昭和 60 年（1985 年）に開院し、松尾美由起院長始め多くのスタッフに支えられ、八尾の地域医療・

在宅医療に邁進して参りました。この度、小生も、縁あって美由起院長の支援を致すべく、松尾クリニックへ参ることとなりました。現在、週 4 回（月曜が夕診で、火曜、金曜は午前診および月 1 回水曜日午後予約診）の診療をさせて戴いております（その他にも土曜に不定期で参ります）。

現在、小生が診療している専門分野は循環器の病気（心臓・血管・リンパ管）が主ですが、循環器のみならず広く総合的に全身の病気の診療に心がけており、「全人的医療」を目指して診療させて戴いております。

最近では、循環器の病気も、狭心症や心筋梗塞などのような冠動脈（かんだうみやく）心臓の栄

養を担っている血管）の病気、呼吸が苦しくなり浮腫み（むくみ）も生じる心不全、脈が乱れる不整脈等のような「心臓」の病気と、血液を運搬する通路である「血管（動脈と静脈）・リンパ管」の病気など、多くの病気が

しられるようになりました。それぞれの病気の診療に長けた専門家も育ち、それぞれの



の病院にその特徴が求められるようになってまいりました。そのような中で、小生はヒトに優しい「超音波」（ちようおんぱ）周波数の高い「音」の一種を用いた超音波診断法を駆使して、全身の病気の発見に努めて参りました。

超音波の検査では、皆さんの

首の部分で血液が流れている

「頸動脈(けいどうみやく)」（動

脈硬化の程度…血管年齢なども

判ります)を診たり、心臓の大

きさや形・働きの異常を調べた

り、そしてお腹の中の臓器に炎

症・結石・ガンおよび動脈瘤(り

ゆうこぶ)などが無いかを調べ

たりすることができます。さら

に、「足の動脈」の動脈硬化、そ

して静脈の血栓(いわゆる、エ

コノミークラス症候群、など)

や静脈瘤なども観察して、それ

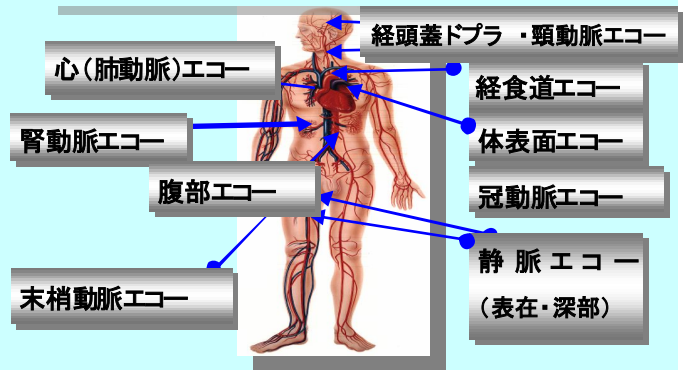
ら血管に病気(「詰まり」や「こ

ぶ)がないかどうかを観察する

ことができます。



代表的な血管エコー



小生は岡山県生まれですが、

小学校入学前に広島に転居した

ため、小・中・高、そして大学

時代を広島で過ごしました。広

島大学時代は、学園紛争があり、

そこで青春時代(歌の題名では

ありません)をすごして参り

ました。その頃は毎月の生活費

をアルバイトと奨学金で賄うと

いう苦勞の時代(「神田川」とい

う歌もありましたが…)でした

が、何時も「明日に夢みる」こ

とができる時代でした。卒業と

同時に来阪し、医学・医療の修

業時代が始まりました。精神科、

神経科、消化器科、循環器科、

救急医療、放射線科と巡って、

この間に東京・福岡・米国と一

時の単身赴任も経て修行して参

りましたが、これも縁あって、

昭和60年から吹田にある国立循

環器病センターに勤務すること

になりました。そのときは松尾

クリニック開設と時期を同じく

しての転勤で、当時は年齢も未

だ30歳後半で、これからの循環

器医療を担おうという意識を持

つての帰阪(まだ「血管」の超

音波検査も始めたばかり)であ

おります。

そして、国立循環器病センタ

ーで15年勤務して後、縁あって

大阪市西区で松尾循環器科クリ

ニックを開業しました。「全人的

医療」の必要性を感じたことが

きっかけではありましたが、日

常診療と共に「血管検査の普及

(検査士の育成も含む)を図る

活動」にも取り組むことができ、

広く活動する機会を得ることが

できました。この仕事は今も江

坂のクリニックでの診療、およ

び国立循環器病センター(週1

回)での継続した検査・研究等

で継続しており、更に月に2、

3回は全国での学会・研究会・

講演会活動をさせて戴いており

ます。そこでは、「血管の病気を

診療する必要性」を知って戴い

たり、「超音波検査」の知識や技術を全国に拡げる活動を継続して行っております。

今後とも松尾美由起院長を支援、今まで以上に地域の病院と連携して、質の高い医療・看護・検査を皆さまに提供できるように努めると共に、皆様の健康を支え続けるクリニック（何時も真心と笑顔とともに）として歩むことができるように、スタッフ共々、小生も邁進して参りたいと思っております。ちよつと人見知りする質（たち）で、強面（こわおもて）なため取っ付き難いとお思いかも知れませんが、健康のことで気になることなどが御座いましたら、気軽に声をかけください。

事業所紹介

前号のケアプランセンターに

引き続きまして、今回は訪問看護

ステーション「来夢^{らいむ}」についてのご案内です。



【訪問看護ステーション来夢の紹介】

所長 石角 佐衣子

訪問看護って何をしてくれるの？ということをよく聞かれます。訪問看護って何でしょう…。

訪問看護とは通院が困難であり、また、住み慣れた家で生活を送りたいと希望されている皆様のお宅に、医師の指示に基づき看護師・理学療法士等がお伺いして看護サービスを提供させていただきます。看護、及

び自宅で生活する上で必要な指導・援助を行います。理学療法士による訪問では、患者さんの症状、家屋の構造、介護力等を考慮しながら必要な訓練・指導を行います。

《出来ること》

- 病状や障害の観察
- 身体を清潔に保つための援助
- 食事や排泄にかかわる指導や援助
- リハビリ（機能訓練）
- 認知症の看護
- 終末期の看護・医療処置（点滴や管・在宅酸素の管理他）



私たちは、サービスを利用してくださる皆さんが、それぞれの状態に応じてできる限り自立した日常生活を営むことができます。

るように看護に取り組んでいきます。そのために必要な地域での連携はしっかりと行い、総合的なサービスの提供ができるようにします。

昔のように大家族で生活するご家族が少ない現在、家族が長く介護することが難しくなっています。そのような時に訪問看護に頼ることは悪いことではありません。病気を抱え、自宅で療養される患者さんのご家族にとっても負担が大きくなるからこそ、地域で協力してケアをしていく時代になっていきます。



患者さんやご家族の方が元気で長く介護を続けていくために

も、上手く訪問看護サービスを利用して負担を軽くしていきましよう。

気軽に、いつでもご相談ください！



今回は南野睦子様より寄稿いただきましたので、掲載いたします。

「私とおはなし」

南野 睦子

小さな子どもの頃、誰もが大人から色んな話を聞いて、育ってきたはずである。テレビもなく、子ども用の絵本などもまだなく、家の近くに図書館という文化施設が整っていなかった時代、多くの子どもにとっては、大人が語ってくれるおはなしが

想像力をかき立てる唯一の文化だったのかもしれない。

小学生の頃、祖父はタヌキや

キツネが人を化かすはなしをよく聞かせてくれた。戦前・戦後

すぐの河内平野は、点在する

村々を田圃と畑が取りまき、鎮

守の杜もあって、タヌキやキツ

ネは人間にとって身近な生き物

だったにちがいない。記憶力の

盛んな時期に聞いたはなしは、

いまも私の中にくつきり残って

いる。



夜なべ仕事をしながら母が

語ってくれた『パピイの手袋』

も忘れられないはなしである。

これは犬の世界のはなしだ。魚

やおじいさんに拾われたパピ

イーという名の子犬が主人公である。その子犬が持っていた、

人間の手袋をめぐるの長い長

い冒険話である。每晚少しづつ

母の声で語られる話を、兄と私

はワクワクしながら聞いていた

ことを、今も懐かしく思い出す。

結婚して子育ての時期には、

ずいぶん沢山の絵本を子どもに

読んできたが、それも遠い昔の

出来事になってしまった。この

まま絵本と縁が切れるのかと思

っていた頃、友人に誘われてあ

る「おはなし道場」に参加した。

そして語る面白さを体験した

話を覚えて、自分なりの色づけ

で、人さんの前で語る。脳も刺

激するし、心も刺激する。こん

なええもんはない。今の時代の子ども達は結構お

はなしを聞くのが好きらしい。子どもだけでなく、おはなしは、大人の心もほぐしてくれる。

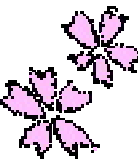
行事報告

「春の集い」

平成 21年 4月 4日 (土)

午後 2時 30分 ~ 4時 30分

プリズムホール 4階会議室



≪プログラム≫

1. 講演 松尾 美由起院長

「脂質異常症ってなに？」

脂質にはHDLコレステロー

ル(善玉)とLDLコレステロ

ール(悪玉)、中性脂肪がありま

す。

LDLはコレステロールを体

中の細胞へ運ぶという重要な役

割でLDLそのものは決して悪

玉ではないですが、多くなりすぎると動脈硬化を誘発する原因となったりもします。また、活性酸素により酸化することで、ガン・動脈硬化・糖尿病・老人性痴呆といった病気の原因になるのではと考えられています。

コレステロールの数値だけを気にするのではなく、酸化を防ぐことが重要です！

動脈硬化の検査として、頸動脈エコー・PWV・ABI・冠動脈CTがあります。心配な方は先生にご相談ください。



2. レクレーション

「ビンゴ大会」

2年ぶりにビンゴ大会開催でした。良いものを手に入れられたでしょうか？

「七夕まつり」



7月4日に予定しておりましたが、今年は新型インフルエンザの影響により開催を見合わせる事となりました。

「秋の集い」

平成21年10月17日(土)

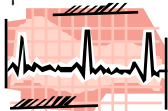
午後2時〜4時

プリズムホール4階会議室

《プログラム》

1. 講演

国立循環器病センター



北風 政史先生

「高血圧について」

循環器病センターでご活躍の北風先生をこの日の講師にお招きして高血圧についてお話いただきました。

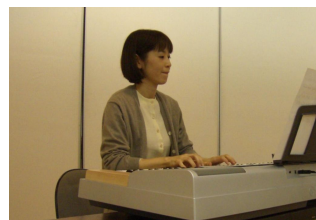
高血圧の原因や危険因子、合併症、薬剤等について難しい内容を分かりやすく丁寧にお話くださり、また緊急時にはご自身宛に直接電話してもよいと暖かい言葉もいただきました。

2. レクレーション

松尾院長とスタッフによる

「午後の調べ」

松尾院長のギター演奏やシャッソンに加え、クリニックスタッフによる「ポニョ」の替歌や「ウクレレ演奏」などいろいろと楽しんでいただけたのではないのでしょうか？



「第18回みんなの作品展」

平成21年11月26日(木)

プリズムホール展示室

今年は何年と違い、作品展を年末にしました。時期がクリスマスやお正月に近いということもあり今回はいつもと違った作品が登場していました。また、今回はたくさんの方に見に来ていただき大盛況のうちに終わることができました。また次回もどんな作品が飾られるのか楽しみですね。

同時開催の院長の講演では「嚥下」についてのお話でした。飲み込み間違いを起こさない為には、口の中を清潔にすること・食べる姿勢や量に注意すること・口や舌の運動をすること・冷たいものから食べること・食事にとろみをつけること等いろいろとありました。



「新年会」

平成22年1月23日(土)

午後2時30分～4時30分

プリズムホール4階会議室

1. 講演 検査室 技師

「エコーでわかるこんなこと」

松尾クリニックでよくする検査として超音波(エコー)が

あります。この検査を何故するの

か・何がわかるのか等をわかり

やすくお話いただきました。

【松尾クリニックで

検査可能な主なエコー】

● 腹部エコー

● 心臓エコー

● 頸動脈エコー

● 乳房エコー

● 甲状腺エコー

また先生にご相談下さい！

2. レクリエーション

「太極拳」

いつも楽しく練習されている

メンバーでの発表でした。皆さ

んも一緒に上手

に太極拳できま

したか？

ご興味のある

方はぜひお声か

け下さいね！

「春の集い」

平成22年4月24日(土)

午後2時30分～4時30分

プリズムホール4階会議室

《プログラム》

1. 講演 松尾 美由起院長

「糖尿病予備軍について」

クリニックでも徐々に患者さ

んの数が増えてきている糖尿病



予備軍のお話でした。

なりやすい人には血縁者に糖尿病の人がいる・食べすぎや飲みすぎの習慣がある人・血糖値が高めや尿糖が出ていると言われたことがある人などです。



また悪い習慣としては食事の偏りが多い・食事時間が不規則・お菓子類が多い・残り物をもつたいないと食べてしまう等があげられます。

糖尿病になると動脈硬化の進行が早くなり、心筋梗塞や狭心症などを引き起こす要因となります。予備軍のときからの対策が肝要です！

2. レクレーション

「南野睦子様による朗読」

● 三つの金曜日

● ふうふうばんぽん

楽しいお話をありがとうございました。一度聞いたことがあ

るような懐かしさを感じながら聞かせていただきました。

また、朗読という本を読むイ

メージでしたが、暗唱されていることに驚きました。暗唱すること

は脳の訓練や身体のためにも良いとのことです。朗読に興味のある

方はぜひチャレンジしてみてくださいいかがですか？



「AEDの使い方」

最近よく街で見か



けるようになったAEDについてクリニックの看護師が使い方の説明をしました。

①「大丈夫ですか？」と大きな

声で呼びかける（意識確認）

②救急車の依頼・AEDを持つ

てきてもらう

③下あごをあげて気道確保

（呼吸の有無確認）

④人工呼吸・心臓マッサージ

⑤AEDの装着・使用

救急隊が来るまで④⑤を繰り返してくださいね！

行事予定

「七夕まつり」



今年七夕まつりの代わりに夏祭りを予定しています。

「夏祭り」

平成 22 年 8 月 27 日（土）

午後 2 時 30 分～4 時 30 分

プリズムホール 4 階会議室

「25周年の集い」

平成 22 年 10 月 2 日（土）

午後 2 時 30 分～4 時 30 分

プリズムホール

レセプションホール

今年クリニックも 25 年目を迎えることもあり、楽しく行事を計画していきます。皆さん、ぜひご参加ください。



編集後記

今回もとても遅くなり申し訳ありません。その分、8 ページと内容も豊富になっていますのでお楽しみいただけたらと思います♪